

咽頭・食道癌内視鏡治療の新展開

司会 東海大学医学部外科学
長野県厚生連佐久総合病院胃腸科

幕内 博康
小山 恒男

高画質内視鏡や NBI や FICE 等の Image Enhanced 内視鏡、さらには拡大内視鏡の普及に伴い、咽頭・食道領域の表在癌発見頻度は急増し新たな治療法である食道 ESD も 2008 年に保険収載されて、急速に普及しつつある。

内視鏡治療には EMR, ESD に代表される切除法、APC, PDT 等の破壊法があるが、治療方針、follow up 方法、偶発症、局所再発率、リンパ節・遠隔転移率、異時多発癌、他臓器癌等の成績をご報告頂き、咽頭・食道領域の内視鏡治療の新展開に関して論じたい。